☆帝国主義国、後進国、「労働者国家」 ブロック階級鬪争を

プロ独一世界共産主義の勝利 共産主義者同盟(戦旗派)

10月13日 毎月3回 3の日発行 第311号

部 50円

戦 旗 社

-6滝沢ビル内電話代03 (264)2961 振鬱東京 28110

10月19日 共産同(戦旗派)政治集会 5時半 牛込公会堂 10月21日 国際反戦統一行動

福川公園 石川青年奪還東拘包囲闘 争 青砥公園 10月22日

的成功 8



10.8羽田闘争五周年は、

10 19 10.8 基調報告 所 Ħ 0月

つまり、そもそも、「十・八回~」の総路線を高々と掲げ、金を誘起・内戦ー世界並の

国際主義と暴力」を更に深化

こうして集会は、赤ヘル芸事

連幕挨拶 三里 塚芝山連合空港 反対同盟按 拶 共青同全国委员会 日本反帝戦線

向

翔

一九日五時三〇分

牛込公会堂

沖繩青年同

盟

9.19M113級出限止闘争は、未明まで戦闘的相模原市民を先 頭に闘われた。写真はゲート前で援動隊と対峙する反帝戦線

たあたって、この目が「ベトナー」を迎え撃 階 主 争 ま き の 現 局 し 面 ٤ をいうことである。 ということである。

K 帝 際 玉

本的な態度として確認しておくこ。 大よう、これらの内容は、単に

議が強大化したかのように把握し 特等に 型をとらえたと把握したり帝国主 上げら

株ある。このことは意的に重要で 野税の選挙等区の ・市民とともに輝い抜き、基地棚 の事業本部長会議 ・市民とともに輝い抜き、基地棚 の事業本部長会議 ・市民とともに輝い抜き、基地棚 の事業本部長会議

、闘争の爆発を

拍振することぬきに、プロレタリア解放の大道を歩むことは概めて困難なもの

教 育 学 園 反基地·部落

|各税的にはかかる帝国主義者の元 笑おうとしているのが、「和平」 園 反

闘 争 基 の

地狭 圧 倒

山教 的 高

揚 育 を 学

のる犠牲をいとわず連続的に続い

を総括し、再度 高揚 させ

を 大学・大学の選挙を担当の ・ 大学の選挙を担当の ・ 大学の ・ 大学

われわれば、日本断級闘争の理らないのである。

についる出いているの、各国市田主義は共同反流のの終りでよの名誉を確め、それの大動語を称しているには、「一般の対象の円では、1200年間の一部が決定して、大大学を発生している。「一般の対象の一部が決定して、大大学を表現の主義の、いれば、の音楽の音楽の一部が決定して、大大学を表現の主義の、大大学を表現して、「一般の主義の一部が決定した。」 、四の切上げ、ドルー会の受験体にが次られてスミンニンを競売として閲覧化されつつも、米の切りに対して、万年が大いで、三のつの「新鮮繁繁」にあるライントン・アン体制の展開な、アルターに対して、大いの「ションの荷」と表示と関節が対していません。

勝利する。米待もそのカイライ敦権も決してベトナムで勝利することはできず、又米国県人や有虎」以外の存在とはなり入ぬのだということや委規している。全世界のプロレタリア人民は必ず 色人種、在日中朝人民、部落民、その他すべての被抑圧人民は、さく近い将来に必ずや人間とし

いわゆる蜂起・戦争派の

敗退の根拠につい

ののようだって、大人・大力は「企業を開発者を 東の種がと自己語う・観念書言」より用、以下し のようだ。複形的な「教育の「教育の」を記述している。 のの日に近いて、早年機能を持たい田の住じ。 紀であったが正常地が上げ、一般観光、深点は、つけい報子していた人の大学が上げらなった。 1 まました。 2 まました。 3 まました。

機能化され前続されているのではと点われていたボー欧部周貨のような「愛魔主義」者の任義であるとい、争の診断から、愛族的・刺激的な真の大衆疾の闘争(のに自分の漢の中や家犬さえずれば、すべては各国とのマスコミにさんなん気を含れて、きっと新練く 「世様の指揮を選びすること」が、当間する作画・花鷹君は春でより、田が、「自然発出的大衆疾り間(出現突症等など思うたり、現実は何もなっていない され行され、あまつさえプロレタリア解放に近づく 落展設置の隣いだと対等は考え、かつそう主・のに自分の頭の中や変えさえすれば、すべては免罪 似的武装闘争で、これは平和的大衆実力闘争 というのなら、赤電派にとり階級闘争とは夢と空意 位置づけたとでもいうのかね。全て否である。

のは、大学がからの音楽もでしたがくいかないの、これがいい場所です。上から表であった。今の後のから、では、自然できるとなった。 重視では、報覧書であったとして、その意思の、あの字を含 ない、実質書であったとして、その意思の、これがいい場所です。ナンといから、写像の書から、定じのを書いこれがないであって書から続く ない、まながからの音楽もでしたがくいかないの。これがいい場所です。ナンといから、その音楽の音楽のでは、まない。 は、まながからの音楽をひてしたがくいかないの。これがいい場所です。ナンといかも「英華の中の」に「西田里であった」ものを書からの古代が表できまった。 れではその指導の転換の内容がどんなことなのか聞 と観念のおりなず「灯雕大敷」のごときものでしか。またいなどというまえに、そもそも「自然発生的大 ないのである。 またそのために党の問題や却暴問題がそれとすると考え、そのためにはRG(示句要を論に従って彼等には組織的=王体的殺者が何も、三千名の武装部隊で国会や占拠すれば全人民

るものを対置し、又分派闘争の過程で若等は

であるが、「日本人民の大衆疾力財争の暴傷者度 ソ・塩息三義方才」「ファシズムが前距離発起によって彼等がガナリたてていた「間段階襲起」につい りつけ、はたまたされ以前には「マルクス・レーニを発言が大力 (等二次アントの分談闘争への突入遠 ラ」だと機信に補おてそとら中の建誌社に誤論を送ます。

もの自体が、現実に対する勝手な意味付与と解釈で

とをわれわれは知らなければならない。

革命」を誤びつづけ、「ゲリラが覚で、覚がゲリ

戦

间

日

念上の架物が主体化され、順人化されて、それ自体、線流動しにり、絶質的に必要な構造がいうあべっぷ。のだ。ながそのためにはららしても根据問題を最終されたけでもなく、まさに「問題際記録報告」なる他 1-12、「「※別選考」」という原情が確いの原因を報酬的目前は、再び同じ表文化せばらったわけでもなく、まさに「問題際記録報告」なる他 1-12、「「※別選考」「※要達」」という原情が確いの原因を組織的目前は、再び同じ集文化せばられる。

つものである。こんな総法が

翔

ある。そしていれに対した栄養国の中間が指導や、タップのヘルモニーで進行するというならどもかく。またことではよったのでは、日歌を育ぜ、本命の歌師問題に対す、民意の主義、歌葉では光常国の民主義革命のようの言うとうとなっ

「核民」歌とパトスだけの振り回しであり、そんなものは自

またことではふれなかったが上野房屋や八木修造

大同小臭の熊資任な軍事への議

対立という回様分解や視察化させていないロシアに

難貴族や領主的大地主を打倒する聞いを支持すべき

とだが)は、ブルジョアジーとフロレタリアート・経済が支配するに至る」、何瞥F一〇四、という

でれで

かも花蘭者は更に悪いことに、

プル民革命をプロレ

り、主た持久戦や巡邏戦は診断とかたく発育したもから、企業研究されていたいというととである。 と复彰化や党の団類の処理は、観察論環実のことであ、程づの英舎理論の表学化によってもたらされた語言とは当然できる 布難である。 だがそういった大衆の りマルクスの時のままの総職資本主義整路の著さ道 をわれわれが対象化しつつ学ばなければならないと

・背景とするわけだが)に対する全くの無目気、 歌すべき見事さは、誰もが認めるべき当沢東路線の 帝国主義登略への移行、思には一九一七年プロレタ **持久戦という重事理論としての持久戦争論、遊撃戦 争の推移と、そこにおいていわゆるスター**

イロへの回答の、おもないというだければならば、148の中間実命(回答は著名(イー・1つ入間を とあわれい。日、まで、こと、というなくでもは、日本のでは実命(回答は著名)、それともには、 とあわれい。日、まで、さいからなでもは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、 を出るが、「もいからなでもない。」の目のでは、日本のでは、日本のでは、 を出るが、「もいからない」というからなでもない。日本のでは、日本のでは、 を出るが、「もいからない」というない。日本のでは、 「日本のでのこと、なったりのことない。」の目のできた。「日本のでのことが、 これではいくのきなって、そのでは、「日本のでは、 これではいくのきなって、そのでは、 これではいくのきなって、 「日本のでは、 「日本のでは、

スターリン等に比した場合の優秀さであって、これ、リアロシア革命の成立といった一連の流れを乏 におけるソウエト・然養軍→武養養起路線にも匹 的妄奏と全世界におけるブルショア独裁支配の実現

が彼等の第二の誤りである。

乗り移り

又帝国主義の恒接支配しているいずれの権民地にもつまり「いずれの帝国主義國家にもあり得ないし

脱離一同じょうな視点から考え、なおかつスタブハ網領をさせること、革命のほこ先を向けて帝国主義の頭目

るに主体的=組織的反省の念くの欠答、これ

毛沢東軍事論への

今年二月の世界の盟主来帝のニクソン訪中、そし

る内容をもって批判せねばならない

かれる国際主義の内実

党に指導された「世界革命根拠地国家」たりえては 明らかにしてい

会ごに中国も又スター

であっていただけであっていただけであっていた。 このであっていただけであっていたがではあっただけであっていたがであっただけであっていただけであっていただけであっていただけであっていたがであっただけであっていたがではあっただけであっていただけであったが、他にはないであ チズムでは原則を追脱し状況に押し流されてしまう とも回答しえず、 線」という抽象的学句のコネク 従ってこれは「世界党-世界示單-世界反帝統一戦 者にとっての国際主義の内実までを提到し合り、 階級対立の止溺という原則のうとに包摂され、対象 決奪し、一九一六年七月執筆、より引用)というよ 内容が、ブルシ

現代革命と民族・植民地 問題をどう把えるか

て九月の「選去をザンケする」田中の訪中、あるい、対しては、あくまでもこれを支持し返帯してゆくと みと考える。 なって 対しては、あくまでもこれを支持し返帯してゆくと みと考える。 われわれは帝国主義と闘うあらゆる人民の闘いにという、共衆主義的政治の真領や表現する諸盟であと民族自決権(テーゼ)』中においても、

である。 ・ コントでは、 ・ ロンドでは、 レーニン民族理論の

意義と限界

くそれや指導する党が、関う後進国人氏にとり一つ ロレタリアートの経済関も、 なかんず 言って先に述べた内容、 の希望の灯でもあった筈の共産主義・中国を、かかったけでは、現代世界や規定するすべての問題点を ニスト・ソ連と同じに、決 も大きなあらわれとして知圧と被判氏、※別と分断

して全世界の被和圧大民を普遍的に解放しうる世界 にもとづく民族問題を挑起し、その解決の※日本明 やよび植民衆間段委員会の報告」を参照すよ) **現実的に対象化しされないことを明確化し、その最 主義へ移行できるなる命組が採択されることになる** | おおいます | おお その民族理論と呼ばれる諸内容の意義は、大きく こり、「ブルジョア民主主義運動の支持ではない民 内容をめぐってインド代表・ロイとの間に給争がお 現代世界冷劇だするすべての問題宗念・主義的落態的散をすどおりしてソヴエト制度・共産不の経済関係という主義的な矛盾を蓄。植民元守の健民ツヴエトの湾用と、接道諸関は資本べた内容、つまりブルショアシーとブ・蒸塞帝運動の支持」論が打ら出され、かつ接塞国・ベた内容、つまりブルショアシーとブ・蒸塞帝運動の支持」論が打ら出され、かつ接塞国・

いが、それがもし政治権が、実践的理論であったが次の認弘と同盟点を有し というも、それを理論的に見て切くならば、当然にもそじればところでかかるレーニン民族理論であったとして

ならない。また大衆運動が前芽的権力だなど

参形成し、それから上部接近としての政治権力を打 第一 には『資本論』二三弦祭五節へ資本制的意義

させた、毛沢東教学主義そのものである。
より先生養本主義はプロレタリア独裁、後とされ、毛沢東教学主義はプロレタリア独裁、後と

組織設備減と戦略論領域の二重学し、股術問題の胆させなければならないのではと思いこんだ、運動、

て
ーや三大

現律

の

担唱

による
大衆へ

の

宣伝

地は

プル

民

至合
というよう

な

立命

の

図式

化

が

義はプル民革命のプロレタリア革命への転化

と組織化、ない

とは戦術的には即決戦、戦略的には

といった、腫蹊共産主務運動における戦略論 倒する、そんなアルジョア革命の様斑とはことなり の一般的法則の例正ソや、そっくりそのままロシー

い歌的経済構造を題目に、アルジョア権力の打動の「・・」(一八九三年)→『ロシアに寄ける資本主義の討社会から経済的フクラードの引着さないに、新し、に提用したと述われる。『いわゆる行勢関極につい

マルクス主義の「茶展」(一八:

九年) 空貨ぬいて

植民
ア革命は資本主義社会の内部で経済的なウクラード

フ独裁、後進資本主 複葉のようなことを意味しているなら、プロレタリ そらと様年スターリンに 力の打倒をぬきにした社会的権力の成立という情况 てい それは大きくわけるならに、二点の問題点とし

ても、現実の労働者階級や被抑圧人民の組織化の鑑 であり、これに積極的に参加しなければならな 約局、

教後に含えることは、

例えば花園者の文章 ジョア的憲法側定議会へのプロレタリア 方ではまとめられ、それが二段階戦略の第一段階の られていくの全見でも膨然である。 民族理論のまとめ的色彩を持つ論文『社会主職革命 れ、結局されが後進資本主義国・核民地における二れ、結局されが後進資本主義国・核民地における二 ーデンからの分離の承認論にみられるブルジョア国 の民族理論の特色の一つである、ノルウエーのスエ いう。三つの戦術』にみられるアル民革命論(アル を有しているのである。 これは例えば〇五年革命後 |満期に書かれたと思われる||九||六年のレー| 「国家形成の支持論の内容が、『帝国主議論』とほ 機能略の容認論として振起されてゆくという誤響 一九二〇年のコシンテ アルン! 団大会に至り、 するというようにま

Ξ 面 概念が共存して使用されるための混乱をもたらど

機)の系統をいうのかを不明にきて、会分な原弘を、関いとして、民族がならいものか、それとも一つのアロ独 の国際的財文 分離、独立の大型などののかにおける自治政府(半年一アロ壁)の一自治機 金過渡的東京・ナンジュレカカデスさの介維の系統をいうのか、それとも一つのアロ独 の国家的財文 分離、独立の問題と考え、民族解放しての系統をいうのか、それとも一つのアロ独 の国家的財文 分離、独立の問題と考え、民族解放 極の承認『分離の自由』の内容が例えば○○『 更に醉しく述べるが、一応ここではレー またそこから一国内における少数と多数、符と描しる。 ぐることになるのである。この間間につい! る現むと約約今後認して
を、われわれは支持し連帯する。たがここでの闘い
応ことではレーニン氏法
ウエトナムの民族的統一(つまり民族解放の闘い)

民族問題における「自 と「解放」について

といった思考は、一国主義、一国社会主義建設可能といった思考は、一国主義、一国社会主義建設可能をなった、民族民主統一戦線の形成が人民戦線政府、民族に、民族民主統一戦線の形成が人民戦線政府、民族

革マ

ル派革命運動の

右翼日和見主義の根拠

として、あくまでも指定されるべきであり、労農両 『ア民主革命の遂行とプロレタリア独裁実現の闘い

展理論対象化上の不充分な点をあげておくならば、 省の側面や小さえたうえで、われわれにおけるE、 かいわびじらる。 といくがはきかられてあって、網傾的には認められてて、 ののの側面や小さえたうえで、 われわれにおけるE、 よいわびじらる。

写じにしてとらえていたというあやまり、(e)自 主義、スターリナ系の戦らと決別していくととが と紅氏和の関係における何年と後和年の関係を主重 日独になるという。俗称化され組められたケーニンとが

であり、たいには、そうでは、できていた。このであり、その間を持ちていた。このであり、このであ 王義、一国主義、排外主義をしか与みださな しは帝国主義国内のプロレタリアートが、少数被印 人気が、ない

のだと考える。だからそこから考えれば、われわれ プロレタリア革命」であるということと、それは

密対象化してゆくということである。実践的に考えない。

に、レーニン数条主義ないしは解釈主義的誤認に充 帰放の意味における。 田の諸豊系の無内磐なそれに比しての長所と 同 時 たれよれがかかる に、レーニン数名主義ないとは無犯主義的問題に応 停立後さら誤りと兵別するためであり、われわれにて、レーニン数名主義ないとは無犯主義的問題に応 て沖縄、陽鮮攻や、沖縄独立論、沖縄コンミューン会に自然的ではなかった点が出たられたけられては、北海の産業に対ける「民族自決権の承認」をかかけていませんが高さなりませます。 われわれがかかる区分をなずことの意味は、

マルは闘わない」ということを、数百枚におよんで、らわず、苹マル派は「ブルジョア国家権力の打

中核派の民族理論

ンであった、ないしは結果的にそうなってしまう個

終派の民族理論理解の一知半解を暴言出すためにと それ改われわれば、民族問題対象化において最も 理論理解だけを問題とする。つまり中核派の恵マル 「後進国革命治」への反革命的改作〉 革命闘争と大衆闘争の

ないということ、つまり「健腐国の民族的変担圧人」の骨格であって、これに対してはわおわれは幾多のないということ、つまり「健原知・健腐別の農民革命、民族療法革命」では、置き換えてゆく。これは余りにも有名な金マル主義 「党のための願い」をもって「党としての問い」に

対権力闘争を組織建設

は、「他のでは、これでは、「他の地域としている。」というには、「他のでは、いいでは、「他ので

★ゴリーにおいて、とらえらわらべきののようえのプロビタリオを向けあって、「ーニン主義から入々きことが、回程を放しな、「国内におけななどというときわらわけ無常とないだけらい場へらの教育的自分の表性 かからみ のうちの声を つまり 「帝国主義」如注後表力と、とちろや、レーニン民義権とおりる主義には大」 間、内容的同一項のもの機関であって、における出機へらの教育的自分の表性というという。

ては次 主義と密ヴエトナム人民の関係はこれであり、南北

トのヘゲモニーにおけるブルジ

るが、それはわれわれの場合であるならばコミンテ

「革 現実的には理解される以外ないものであるにもかか う本来の標準においては食気ないというと

柳を ある。

関わないととの合理化と言いのおれの根拠にするで、一切に拡大される」(『コミンテルン・ドキュメン・関心かないことの合理化と言いのおれの根拠にするで、細胞は核によって影動を指揮されるフラクショ い。 年)第六回都大瀬行李総会での、(の)「労働組合い。)といった東京、同(一九二六いの)といった東京、同(一九二六

まった。 「記された」である。 「記されたである。 「記されたである。 「記されたである。 「記されたである。 「記されたである。 「記されたである。 「記されている。 「記されたである。 「記されたである。 「記されたである。 「記されたである。 「記されたである。 「記されている。 「記されたである。 「これたである。 「これたてるる。 「これたである。 「これたである。 「これたてる。 「これたである。 「これたである。 「これたである。 「これたである。 「これたである。 「これたである。 「これたである。 「これたてるる。 「これたてるる。 「これたてるる。 「これたてるる。 「これたてるる。 「これたてるる。 「これたてるる。 「これたてる。 「されたてる。 「これたてる。 「これたてる。 「これたてる。 「されたてる。 「これたてる。 「されたてる。 「されたてる。 「されたてる。 「されたてる。

のフレンター子を担いまた。ことで、おおおいまた。日本のでは、日本ので

組合主義への意味付与

い」で、組織活動のもたらす必然的結果であって、そこに一

深現な

を行いているがある。だからでは独立を指し、作一かと思力との語句にも必要句質の割むです。 そしておは、例ではコモンテルン(一九二一条行いている)をも、からでは独立を指していないという説明、中一事の単年が正常が平一書の書かり、一番の単年、機構ない。 ほぼっかい まった 理解のとのの何のの様も発起していないという説明、中一事の単年が正常の手が一書の「単年」というなものである。 本行しているのである。 本行しているのである。 本行しているのである。 本行しているのである。 本行しているのである。 本行

促ってわれわれははっきりと確認していくのでなけ

ので った行動の基本機成く 本の時間制じないであ 切に成して必要に知って またに別交換 からない 、 まいんの金融の・ラック・ラン・クルーナとい、 問題していることを表に知って またに別交換 からない ・ 乗き出していることにしなっ 地方検询 から

下海内の細胞と組合内のフラクションの関係が全く そのために祟々ル派党組織は、どれもこれもが単合つまり一目地でわかるように蓋マル派党組織には、立機成をすっかり待象してしまっているのである。

ないたいたいないでは、短い間が表でいます。 では、日本の ての腎臓闘争であった。既反対派活動をおこない」つつ「左続フラクション

うである

のでいましたが、本本語である。1987年の代表の代表のでは、本本教授の公園の経営、アウスがなく、他でいるのは本文を含みませました。1988年の公司という。「本語である。1987年の代表のでは、1988年の公司というのでは、1988年の代表のでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司をは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授ののでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司というのでは、1988年の日本教授の公司をは、1988

党的に結集する」(『日本の反スタ』 施丁、P二三 定されていないからである。というもの革マル派党 **革命闘争や独進すんとする中核談を創造し、それを動の領域が、つまり** 通じて遮断上ののりこくをなすという 事に すぎな ・ 数一左綴フラクションのヴェー

革マル大衆運動の構造 宗派的囲込みの道具―

部にある労働者革命家という、前荷党組織の実体的

れわれの独特な闘争=組織戦術を提起し、そしてこ 力ともどもこれを必ず中粉砕してゆくのでなけれ、をわれわれがとらえ、かつそれの批判をつうじてわ レタリア所義の名において、帝国主義アルジョア れ(=理論上ののりこえ)や 物質化するために組織的ならど

補 例えば連動・根縁論といったものはそれが世界党・ ◇ 適用がそこではなされるのみで、〈反帝〉戦略は一 こではっきりと確認されると考える。 が、闘争=組織戦行のなかに 豊の果実の獲得といったそれ)といったファクター たっては政治課題の実現(政治闘争であるならば改一は、持力との闘いを指定しない華マル派が必然的に Jの関連で問題がたてられているのではなく、他党・争論)、又政治派派の家長がめざられないから全、要するに基マル派運動は帝国主義国家拉力の打倒 めのエサとしてその限りで贈われること(十大祭興要するに基マル派運動は帝国主義国家拉力の打倒 査体的■組織的条件を形成する、党づくりの領域の 与と自己目的化に、党全体が必然的におもいっ んな権力打倒へ対抗化されない組織活動への意味付 のか行かにおかまいなしに組織活動をやって含 当体的・等体的形成) に収較されるものである

ヴィエト建設にむけた一杯一帆線術の物質化として

速で理解されるものと考える。 (次号につつく)

つまり返マル派性組織はまざれもなく雇用型性組一階級関争の戦略的前進のために対象化さ **で**るためになられているわけであり、

自派拡大のみめざすそ

の課項とする」(「反スタ」ね二、P二八六)や見のがわから、その契体構造を明らかにすることをそ

の疎外された組織戦術

を打倒するための目的および手段、特にその手段を

それ故彼等の言う問争─担機戦術には、国家権力

は受目上のそれとしてしかつくられていないのであ。 マル新学知識が、大楽器画の称の外に中央一巻区党、パンピ、この信についてより許しくから、マル新学知識が、大学社画のかり外に中央一巻区党、パンピ、この信についてより許しくから、

から述がれることはできないようになっているのでル派が増えるため

エサでしかないのであり、従って夏の意味での全人 の場合には、戦争戦者・組織戦者・第一戦暴戦者のためにのみなされている。そのための 化してゆく方向において関や=組織戦者(われわれれる)

彼等 の現在的導出(これをわれわれば数治・組織路線と

呼んでいる) がなられ、それを不断に現場化し

も従等にはな 具体的接近=諸戦術の物質化ということだが)が、

七)、つまむ社共の、理論上・組織上ののりとえを一細胞はおしなべて組合や自治会の内部に、踏大衆組 マル派「組織版行」、 以上が並マル※気組織およみ、階級闘争の構造であっためのフラクションの区別性がなく、従って細胞 ているだけであり、そこには工場内細胞と組合治動 しかないことをよりは細に確認して行く必要があるのではなく、プロレスリア立命の主体にとっる。

のとするわけだが、まず「組織戦術とは・ カンドリーと、のoとの独創のの交際に関し、切断。 定基制の金属関として戦略でのものがそれに向けてルボ「損機戦行」、「理解=損機能」といった語。として自己目的なられ、かつ潜揺なられて、基マルで「損機戦行」、「運解=損機能」といった語。として自己目的なられ、かつ潜揺なられて、基マルでしているのが、1 また

標業されることによって、すべてや規定しているの

你能化と言ってしまえばそれ

であり、この総組織であるのの組合主義的にして経て多く、独等のいろ「組織規則語」の領域を主なも、でかもしれないが、それ故にこを報マルは権力と でも、えたうえで、「脚争=駆戦が命の情化するための、より、それを自己の延伸の関とするよとなって、「対象・組織的調化、その条件的解処学のもので、つまりわ 総国王海に対し関わんとするものを「フーつ徴じた」 けっぱさん ままかん はっぱい とっちん えを実現するという、彼等のいろへの9こえの概 級中にあっても異屈な日利見主義者共は、時として である」という規定と、この根職戦術と関争戦術の 前を暗殺的事務をより打破づくりにかんする指針が、は関係がないのである。 放衝性の組織的弱いなどに対するがプロレタリア革命達成の唯一のカギであるかけず が同盟が大衆運動や組織化し種々の組織形態や組織 行びついてゆくのが、理論上ののり A現実的−集践的に推進し 左翼であ行っていこう。引用の内 である。 一般選 わないのであり、そんなこと(といってもそれと でまなかんずく帝国主義日本の繁栄と永遠の存続を前日 しながらまさにしれこそは、資本主義社会の

登〉とへ運動―組織づく6の構造〉、つまり組織現 ギマル主義を美化しこれに形つうとしたけず こえ・担縁上ののりこえをつうじて運動上ののりこ 防法などもかかることはないから、プロレタ をわわわればとらえ、かつそれの批判をつうじてわ レタリア階級の名において、帝国主義ブルショマすなわち「既成の運動をささえ規定している理論 いし、知圧され読外されてきた解放をねがう全ず ゆこうという、プルショアジーの門裔のひと ある。だがわれわれはこれに屈することは決して

に大なからともに、これらの質になぜして飲む。 く 他やアナルウェナ場打打部のファクターからく 10円 (10円 株)のスクリー に アストルアイ される (10円 株)のスクリー に アストルアイ される (20円 株)のスクリー に アストルアイ される (20円 株)のスクリー に アストルアイ される (20円 株)のスクリー に アストルアイ さい (20円 株)のスクリー に アストルアイ さい (20円 株)の (20 いので、如何なる難いも華マル茶がかえる

退職治嗣そのものに意味付与し、あたかもそれ自身 の送行が共産主義であるかのように粉飾し、 心であるなどと語り、かかる組織活 平台の完造(現在的には軽起の名

日帝・田中政権が「アジアの平 名が、その不屈の隊列舎もって登めたなっている。 が赤ヘル反帝戦線の鑑竿部隊数十

が赤へル反対教験の事学部版教士 | 佐南新緑会がだっファファ 開催 | 今 ・ 名が、その不理の解決をもって整 ・ 大のである。 ・ 場上のである。 ・ 大のである。 ・ 大のでな。 ・ 大のである。 ・ 大のでな

図 5めつくした。その中央には、わ 今年四月~5月 一回のチンボで、2 年末以帰籍権で、学館町に第全 法選案」(現象景象)を受けて、2 年末以帰籍権で、学館町に第全 法選案」(現象景象)を受けて、10 年代 10 年代 1

| 町地区保安処分と闘う会」「伊達」保安処分新設の内容についての形 日比谷小公園に結集した「信護 民に大前海として決定した上で、

側署粉砕共闘 会議議長 水間 氏は

査を、県下の全ての地域精神病院 神奈川県下での「アル中」実施調

日毎に強化されてお

一々と流行している保安処分体制粉

青行隊全員保釈さる

機動隊・自衛隊の合同鉄塔撤去訓練粉砕

空気現するやいなや、矢つざ早に 和」をうたい、「日中国交回復」

群纂成紛砕・派兵阻止運続闘争で 十月三日―四日の臨時第一是底

た 観察氏に痛打をあびせるべく十・ で 観争につづき、十月中旬までの大 版 わが軽起・プロ独派は十・三丁四

10.6

:安処分新設粉砕にたつ

雨中法制審粉砕

八菱菱翅上一北州本野学に決起し

・八松兵団上朝命は、全九州

非妥妥的難いを貫徹している同志 ンと、 三里坂・狭山において日帝

日米共同反当命前線基地化に向け

ここ北版本においても、沖縄の

発は、戦後体制の根底的動揺の解光帝国主義を先頭とした各国主

により、各地区実行委が形成され により、各地区実行委が形成され

野い抜かれたその戦告を掃起して エー・六億五間法制署総会粉砕 ユー

延命をかけた唯一の道、アジアへ

四十枚名は、総力をあげ、狭霧管 続命の日程も公けによず、非公師(上した金家の分輪で、生で、由民、人を変える会) をはじめ り、全人民の料理を何とかのがれ、上した金家のの場で、生で、由民、人を変える会) をはじめ り、全人民の料理を何とかのがれ

法験化と対決してゆかねばならな

われわれは法制審総会労砕闘争

と力強い聞いへの決意表明が述べ

の共同反革命・侵略反革命と国内

当日、午後一時よる熊大学館前

ぬ解決を求め、共同反革命

〇・三一四に続き

北熊本派兵阻止に決起

の、総括集していたこともあり、わ 1世の 総括集に懸きあわてた「青年豊国 映 が赤へル部隊は、統一集会が撤回 左武器削練楽扱徴した。

青行嫁への呆曽有の弾圧を通じた

弦田の落三万開港の船権的遂行を

狙うといった事態が進行している

・市民・学生・高校生の皆な りわけ、日米四帝国王芸の共

から続みあげられ、熱い連帯の扫 から続みあげられ、熱い連帯の扫 がしてアピール文が反帝戦撃枚対部 本)反符教祭の発言にひきつづき 教練現既・各地区(裕岡・北九・熊

更に独自集会においては、反帝 のである。 職業を残ち級額的に領導している「屈止しなければならない。今頃 た前いや貴敬し、罷出命の高校生縄への大社目物除底兵を断手とした前いや貴敬し、流行の場形な敬対に対して非妥協的」とは目前の後級反応命の遂行上沖 手が尽きることなく鳴りわたった つづいてあのハイエナ総団草マ

さん(五・11、戦士) 少支える会さん(五・11、戦士) 少支える会 (派本) からの認知な関いへの決意妄明がなされ、文字遺いへの決意妄明がなされ、文字遺いへの決意妄明がなされ、文字遺いへの決定を持ち

(桐茶师)

応一集会は、沖共尉、現地共副 統一集会は、沖共尉、現地共副 言がなられた。現均共闘会属を代 【名『屋支局】岡売諸岩ノ「戦

りが付にかちとられた。 立何にかちとられた。

散の進行は、昨年十一月の全束海 革命的左翼・の分裂と拡

段階をみる時、この共同闘争の意

義は重大なものがある。昨七一年

で集会場を消たしたのである。

本規機団の同志は「日米共同反革」の真亦な真樹を生々とよみがえら表して巻言にたった反帝戦線北熊一力」と「プロレタリア国際主義」 全国 通り唯一問い抜いてきた沖共闘と | 放派のゲバルトや直接的契頼とす
 三人口 関係は、この間の沖縄野争を交字 | 六月安保酬争における中核系と解 年、名古屋の地における本十・八年、名古屋の地における本十・八月日から五 日本階級闘争に「組織された暴

ひきつつき、福岡労共町、中國

を より花畑公園まで、権力・右裏の 若干の集余をもったあと、藤崎宮 お干の集余をもったあと、藤崎宮 ノンセクト諸君との共闘等々とし

て、この間の政治過程を最も断乎

進を媒介とした九・一六闘争での

明」、一方においては北ベトナム

労働党機関紙『ニャンザン』、

一「大国が小国の連命を決す

提起された十・八朝争実行をは、

とりわけ三里塚、保安処分等 結集する中から今後更に、狭山・ 信に及ぶ諸団体の結集をかちと 観金国大会―十・二一中央闘争に 型された十・八闘争実行委は、 たことを豪告し、十・十の高原共 いても独自の闘いを積み上げてき

化 線の発音をうけ、インターの後デー・の会、「有志発言」、保安処分職 機楽会・三里家支援

"戦闘体形でもって子飼交差点まで | 込んだのである。

とするこ名の司会によって開始さ きた反荷戦線の長沢同志をはじめ会郷設営等一切の諸準備を担って

革共同両派の逃亡尻目に

ションを展開し、関いの勝利を最 をはね返す戦闘的デモンストレー は、機動隊の規制

背景として、帝国主義の侵略反革をして中国革命を精神的・物質的

命と非妥協的に聞っている後差国 中国共産党は帝国主義への屈服、

この日最大の動員をかちとった

左派、主流派として保障しきった

全国の同志諸君 名古屋地区

た 民族解が剥争と行国主義足下の革 主義への遺を一届はきさよめていま 主義への遺を一届はきさよめていま 主義への遺を一届はきさよめてい

最も革命的な赤ヘルメットの同

兄弟老

大統一行動かちとる

同反革命の実態を全人民から覆い の聞いによって暴竭された日米共の問いによって暴竭された日米共

ロ独族の部隊は七〇名の最も強国。 いる東南と関係していた軽起・ブーの自新隊逐歩に開催に戴団されて「R、更に十・一五三家白田ナイ丰 れた、統一集合政権がある独自に総一かくし、本格的に開始された沖縄。反帝戦継は本十・八の闘いを踏まれた。統一集合政治から独自に総一かくし、本格的に開始された沖縄。反帝戦継は本十・八の闘いを踏まれた。

諸戦線の結集は、沖共闘の今後の一三里塚を通し、帝国主義の腐朽化

るであろう。 ールした。続いて党派発言の最初るであろう。

)の先進的大衆が結集し、集会は 「現在日帝は、死の苦悶にあえい さて当日、矢郷公園には、二五 の日本反帝教繰の機副融長がたち

人民を総動員すべく、

の大衆的歌天、八月母川凝慰解体、住した三国薬疾森共行漢事的の非、全部戦争と続いて光流にたった説。5、三国家青行隊に対する場任やこの兵並奏明としていき、一三戦士を変える体1の経成とそ一そして更に、本統三〇万号でも縁、集会は高数年の指導からはじまり、250元に、収集全更に始めてきてお、結集することを宣言して 一三戦士を支える会」の結成とそ。そして更に、本紙三〇九号でも報酬い抜いたのはもちろん、「五・」九・一関東大震災四九周年大僧宣一五朝争をいずれもその兼先頭で一へむけた基地周辺住民間着治動、

結集することを宣言し、われわれ

?。だが国際共産主義運動もま

「自立主義」的ノン 獄 中

ょ

h

0

ア

ル

進撃。日本においては沖縄返産粉下でのプロレタリテム接近国民族解放 関争の一層の二撃と、帝国主義足所でのプロレタリテム民の関いの

いの拡大を今後とも、その最先頭も含むて、東海の地におけるわがいの拡大を今後とも、その最先頭も含むて、東海の地におけるわがまままままま。 とこにも見えず「第三の十一月」 実態であり、ハイエナ集団革マル にあっては、何と名古屋での十・ 中核派は「千を集める」 していた政治集会が ・企画の割りが動す。全工、「西の物音とはど、「北となって連んでいる。 ・企画の割りが動す。全工、「西の物音とは、「北となっている。 ・企画の割りが動す。全工、「西の物音とは、「北となっている。 ・企画の割りが動す。全工、「西の物音とは、「北となっている。 ・企画の割りが動す。全工、「西の物音とは、「北となって連んでいる。 ・企画の割りが動す。全工、「西の物音とは、「北となって連んでいる。 武闘の炎を守れ :国主義

本国

の

社会から排除、隔離せんと

に こしせまった 翻いの一大突破口 法 制幣総会を、粉砕しもって来春 設に向けたブルジョア法字範含―

DE C

####『こけ』の学生が12目記念 と居合し僻い抜かねばならない。 とりわけ保安処分新設は『精一砂の飼い念も、地域の全ての住民

分断策動を断平粉砕し真の全国共 直流保全法)の保安処分戦級での 闘組織結成へ向け、努力してゆく

で担ってゆく事を、はっきりと決

スコミが一体となって、地域治安防犯協会、自警団、フルジョフマ

- 警察--保健所--精神病院経営者

又現在、既に、都温府県当局

はと思われている形はないという。
のである。

中村夏一..... で 医主義的誤響は則さらかだと思い 中助中の持つ犯無性、それに温服 した社共の破産、中国共産党の一 に 信」 参言え持ち、これをみても田 義の政治委員会として、アジアに す。それは四次防子算の制定、 の本格的な沖縄派兵となってあき 日以降に予定される時後の直衛

10 ・21を闘え! 主義を を暴露し抜き、沖縄人民の极強い | 中国人民の反日闘争と連帯せよ/ます。 毛沢東主義者どもの犯罪性 | 反日本格情、自衛隊上陸領上闘争

る。だが、もとよりそのようなことはできるわけがない。

よって、何とか鎮静せんとし

の大切第と三里は・狭山差別裁判の大切第と三里は・狭山差別裁判の大切第と三里は・狭山差別裁判

—自衛隊派兵阻止·相模原關金

のあたりに突きつけられ、 わが日本反示を築工版本現画の中や、真に真紅の医列でもっ 成群編成粉砕・形共和工圏等の 会さたい。 李星 しつづけている今日この頃です。

者の横行を許しているという否定
級闘争も示だ一国主義・排外主義 萎縮学』の質で唯一概い抜いたわ 命的和台野砕ー自衛隊派兵阻止し夏の「沖縄返獲粉砕・沖縄の反英 の政治者程を"国際主義"と"き

同志諸君 兄弟達

一れわれの胸い冷維持— 落膜せよ

て輝い抜いたことを、報告して もって、あの車楽隊の、沖縄人 十十三國時第一提成群編成粉 ルジョアジーに対し、この順本

報告をなしてゆきたいと思いま

反革命的統合粉砕」の意志統一 奏め抜いたのである。 空籍一帯を、インターナショナ ルの高らかなる合唱で、真赤に 「野起ープロ独派に対し、

たのであった。だが、われわれ 薬を取るといった暴虐に出てき

闘争を、断乎貫徹し抜いたとい 臨時是成群網成粉砕・派兵組止な策勒を断平粉砕し十・三十四 こことを、ハッキリと報告して の哲集した欧別は、権力の結構

で闘った雰囲災人に対して一つ 同諸君のなみなみならぬ決奪 ここにおいて、共分第一プロ

万年カンバニアから脱却した家 この事で、

兵国正闘争を闘ったことがアリ

うして、まさに今秋においてはれ・抜き打ち派兵でなしきり、そ

本格的派兵に

それは、今番一夏のいなだ

本格的大雅派兵でもって、日米

館前級基地化を何が何でもなし 両帝国主義は、沖縄の共同反革 **今秋、相模補給廠媒体關學**否

であろう。 しかし、彼らは何を迎まよっ

えることは「は故良闘争主義・経済 の総括として対象化し「高校生理歴史的限別性を六〇年代高校生運 が高叛共闘の革命的前身―社学向が高叛共闘の革命的前身―社学向 記局、中国志よの提起され、 劉=教育学園闘争」「学園から街 まず騒初に、総括提起が中央書

高校生戦線における唯一の武闘派 五〇万高校年の最先頭を任いきの **煙認し、更に高叛共闘の強化と松**

た人っていたのである。

十日、明大本校において赤ヘルメ 五〇名を結集し圧倒的に売ら取ら 学生、市民、とらわけ高怪のみ ット高叛共闘と、先進的高校生一 平空順み回め、更なる准撃に向け

関二年間にわたる闘いこそ全国四 大会は、市ノ瀬尚志の力強い開 大会は、市ノ瀬尚志の力強い開 れたことを報告します。

のポルシピキ化空通じ、なお一層 革命戦争へ 転化することに 他なのが水シピキ化空通じ、なお一層 革命戦争へ 転化することに 他なのがから まんし さいころ 確認し、そして 田 の共同反革命を蘇起・内観=世界を打ち砕く唯一の追が、帝国主義 の裏切りを糾弾し、

全世界の武装

こストによる全世界階級関争から 帝プルジョワジーの「和平」の政 勢力と連帯し、共同反革命の野選

し、共同反革命の風に抗し、あらた、野望に他ならないことを確認

「叛共闘として闘い、現在労働戦線」ゆる帝国主義の反革命的策略と闘しけて開催されればならない事が明一のである。

いごつとして、共産同(穀族派) て提起されたのであった。

て、高叛共闘第一回大会が、十月|鰤の強化をわれわれ自身の、 牧共闘の二年間にわたる闘いの地 への政治のもち込みーにおいて成

・会党 共産党 を関争として がば、われわ たたかい抜き

回大会への獄中でヒ

東拘にて 高叛共闘書記長

阿部

克則

の更なる進撃を期待します。

高叛共闘を断団として強化せ

回志諸君**ノ** 関うすべての労働者

こン主義者への飛躍と、高灰共闘 この後、総括計論を経て特別あ一策こそ、アジア侵略反率命へ向け してきた」を確認し、更に高坂共

いったのである。又、本大会への「を断固として組織しぬく決意や固い的な政治闘争機関へと飛躍させて「筆客自路線ー新指導要領との聞い

国高阪共闘の組織化を充分に 高叛共闘の全国組織への飛躍をか 帝共闘、名古屋高叛共闘の同志か

ら次々に決意芸明を受けていった

でするです。 一番のでは、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、ないのではなって、から、ないのではない。 を行うがない。 一番子上行の評価の選ばが、定条件の、田で、内、北京会話に対して、 しかく、うらいのではつって、分析、な数値を探する機能的、必一类の間には、水子や、相互 とて、沖縄の運動が、反条件の、田で、内、北京会話に対して、 しかく、うらいのではつって、分析、な数値を探する機能的、必一类の影響がより を行うがない。 高規共闘の

早期情宣委資務と千葉市民に対し 鉄千葉駅草成千葉駅千葉地級前で 鉄千葉駅草成千葉駅千葉地級前で る所でピラが配られ、市民は一人 を貫徹したのである。千葉市内は 一日には、地裁前に四日名結集し 三里接動争の正当性と権力の

保釈面接は四百名もの大結集の下担し、闘う機民、労働者、学生にたにしていったのである。そして一味が、三里塚闘争に反革命的に加 争に共感し、共に闘う決难を新ら 地域を日難し、地域を糾弾したの一対し圧殺攻撃をかけてことらうとし は、人民の名において、自衛隊を ているのは明白であり、われわれ を得て行なわれたのであり、

全気服し、高表共闘を置に全・区。座から本着的実際を向かえた中数。のであった。 としてわれわれの政治の体の疾さ、反落だ、策軍の調い、そして来中、高来共闘の中央指導部を確立した。 を動起、内戦・世界率の戦争に1 闘いと、相模原や中軸とした会国、離ナシ」をもって、美閣し鮮たな の存在をかけ、最後まで、別い抜 最後に山下新議長よりの「自己 作年九・一六朝帝に恐怖した権。 デ、三日には百歌十名も新集しぬ が、反対。回盟は、それに もめげ が、反対。回盟は、それに もめげ

い。 そのように考えて入ってくるなら 体制を変えつつあり、また、最適いといかなくてはならな」ないし、われわれもまた、権力が 三重業温鏡団は、諸君の受け入れ

■日本及帝戦線三里塚現鬪団

革命を再編・験化し自らの延命 することによって、その共同反ン

ンを貨職し抜き、そこに於ける

われわれば、全国の基地闘争とは、闘いごたえがあるし、微蕊的

線で聞いぬくるとを決意表明しておきたい。

ざる」と言う農民圧殺の権力を三民が含っている「三人じゃゆなす に権力を粉々に粉砕し、三里塚農

〇岩山大鉄塔奥力防衛ノ 〇岩山大鉄塔十万人共有化町 〇長略反革命の拠点・三里原四

けベトナム人民の聞いを圧敗せ

本から自新欧を沖縄へ派兵して んと目論む中、こと便和一 まさにアジアに対する、 革命体制、日帝の侵略反 できる。又、を日米の共岡区 さんとうる高級井波との瞬い一狭一長に選任し、その他、副職長三名

新共闘議長に、八太<u>多同志を</u> が四志を、数中長規同志に代り高

上げた大会は、多く参問じたのである。 というに対して、「傷害致死」服をも に力は、反対問題とわれわれを分断 に力は、反対問題とわれわれを分断 に力は、反対問題とわれわれを分断 けてあるが、数回にわたる条数回 おたった、自身の不当性、不満、アー機を注めて、自身の不当性、不満、アー機を注めて、自身の不当性、不満、アー機を注めているがなが、 に、一貫行業を案件にとうなどかって、を進出し、とれから組みかれるです。 に、対しているなどかって、を進出し、とれから組みかれるです。 ついに青行欧を客差したのである 時すざ、ついに管行除金貨をわれ れの瞬いによって、她蛇は、

入りこむならば、自分の命は、な 財害隊は、一歩三里塚の地に であろうし、反革命=公団・機動 鉄塔破壊策動には、昨年九・一六 の一体となった三里坂闘争圧収、

全国の闘う同志諸君ノ

ż 体となった区革命策動を粉砕せ 〇全国から結集し、自衛隊と

らでなければ、三里坂の地に入れ

るを得なくなり、三日午後六

航空百衝隊基地内において、パラ 反革命的にも訓練が行なわれたの なったのである。九川十日初宗野 はならない。また、飲味地で開 である。当日は、公団の監督の にして、四台のクレーン車を使い と一体となった鉄塔撒芸訓練や行しては、公団、機動隊は、自衛隊 らず更に拡大しぬいていかなく 闘争の資を受けつざ、それのみな **卜陸下訓練塔念岩山大鉄塔**

■ ラは、防弾で、 ■のの中に入っている人を出す。 ■ゴンドラの中には八名機助隊が入り、 ■ る ■ その後撤去する。 ゴンド ■、クレーン車が四方向からゴンドラをぶらさける 五号四十

支防戦に参加せよ。日本反帝戦線戦争打ち向め来たるべき鉄塔

兵と、それを口火に、大量証兵臨時第一程成群編成、十・四深 今年中に一六五〇名を選兵し、 なか、日帝プルジョアジ 本階級関係の風が吹きまくるさ 爆発点に全国の叛軍、反基均闘